ECHO®

バッテリープルーナー

取 扱 説 明 書

型 式

BPH510-PA

このたびは、当社製品をお買い上げ頂き、厚くお礼申し上げます。

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 10

3 作業の準備 11
3-1. 製品の組み立て 11
3-2. バッテリの充電 12
3-3. バッテリの取り付け・取り外し 14
3-4. ガイドバーとソーチェーンの取り付け 14
3-5. ソーチェーンの適正な張り 16
3-6. ショルダーハーネスの調整 16
3-7. チェーンオイルの準備 17

4 始動・停止 18
4-1. 始動 18
4-2. 停止 19
4-3. エラー表示 20

5 枝切り・剪定作業 21

6 点検・整備 24
6-1. ソーチェーンの目立て 24
6-2. 点検・整備の目安 26
6-3. 点検・整備要領 26

7 保管 28

8 故障対策 29
8-1. 故障診断表 29
8-2. 製品の廃棄 29
8-3. バッテリの回収 30

9 仕様 31

10 その他 32
10-1. 補用品と消耗品 32

安全にご使用いただくために

警告表示について

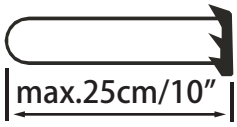
⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		キックバック注意
	作業中は目、耳、頭の保護具を必ず着用すること		ソーチェーンの回転方向
	足の保護具と手袋を着用すること		チェーンオイル吐出量の調節
	火災に注意すること		チェーンオイル
	電気ショックに注意すること		感電注意
	安全 / 警告		半径１５ｍ以内に他の人を近づけないこと
	高温部に注意すること		ガイドバー最大サイズは25cm
	水の飛沫から保護します		

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **バッテリ、充電器の取扱説明書を読んでください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店に相談または株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は、木および木製品を切断するために作られたものです。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師、または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

健康管理

- **休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。**
- **作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中止してください。**
- **1 日の作業時間は 4 時間以下を目安にしてください。**

長時間の作業は製品の振動等により身体に負担がかかり、健康障害の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

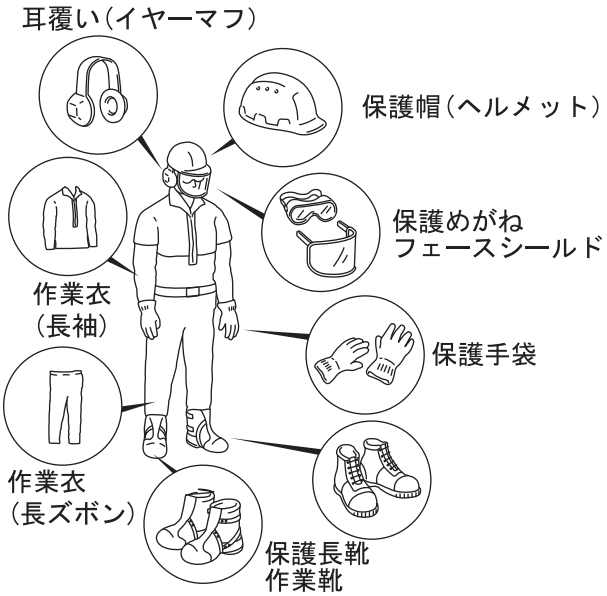
事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) またはフェースシールド:目や顔の保護**
- **保護手袋 : 寒さなどから手を保護**
- **滑りにくい丈夫な作業靴 (先しん入り) : 足の保護**
- **防護ズボン、脚カバー : 脚の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。



❍ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**

製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**
- **可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所**



転落や滑落、誤った操作や、製品から発生する火花などにより事故や重傷を負う原因となります。

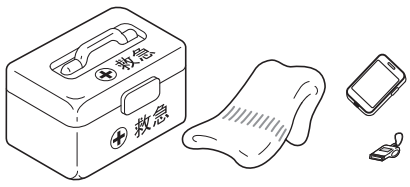
❍ 緩やかな傾斜地では､等高線方向に作業をしてください。

転倒して重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**



応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ 製品から発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 警告

充電器

❍ **定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。**

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **風通しの良い屋内で使用してください。**

水がかかる場所や湿った場所で使用すると充電器内部に水が入り、充電器による感電やバッテリが短絡する原因となります。

❍ **分解、改造をしないでください。**

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。**

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**

感電の原因となります。



❍ **煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ **使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**

感電やショートして発火する原因となります。

❍ **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

バッテリ



❍ 専用充電器で充電してください。

他の充電器を流用すると、発熱、破裂、液漏れ、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 液体で濡らさないでください。

バッテリが異常な電流、電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの液漏れの原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ 分解、改造をしないでください。
❍ 次のような取り扱いをしないでください。

- **電子レンジや高圧容器のなかに入れる**
- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負う原因となります。

❍ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重症を負う原因となります。

❍ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

❍ 液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

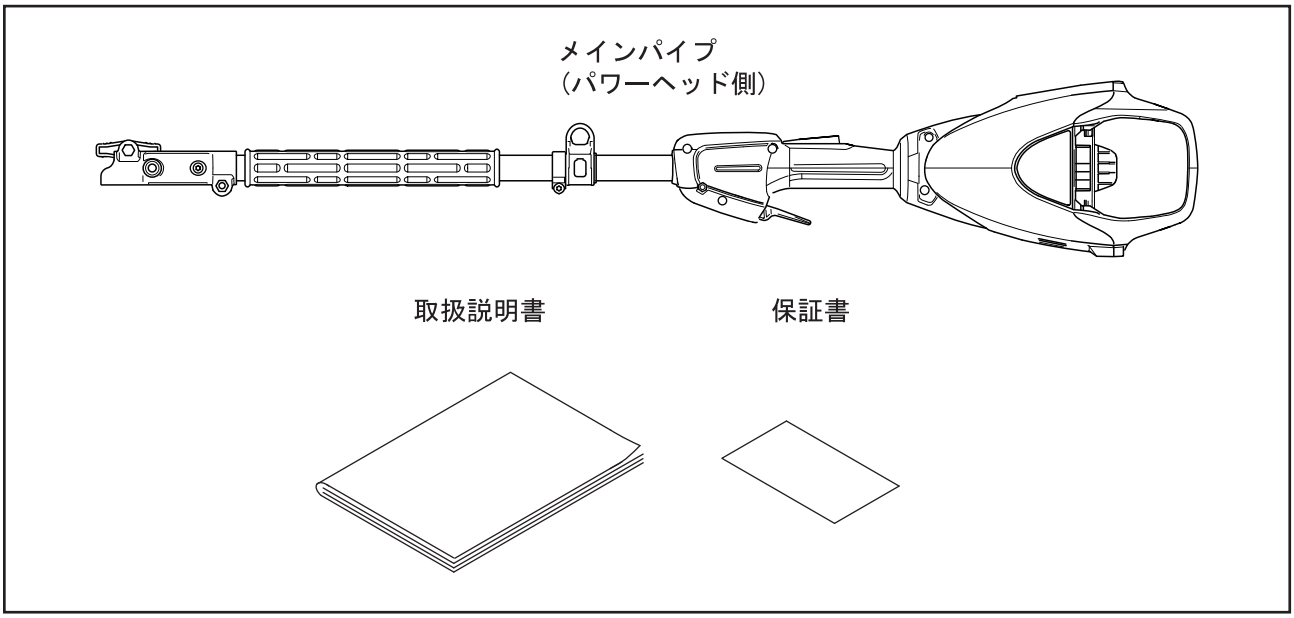
❍ 液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

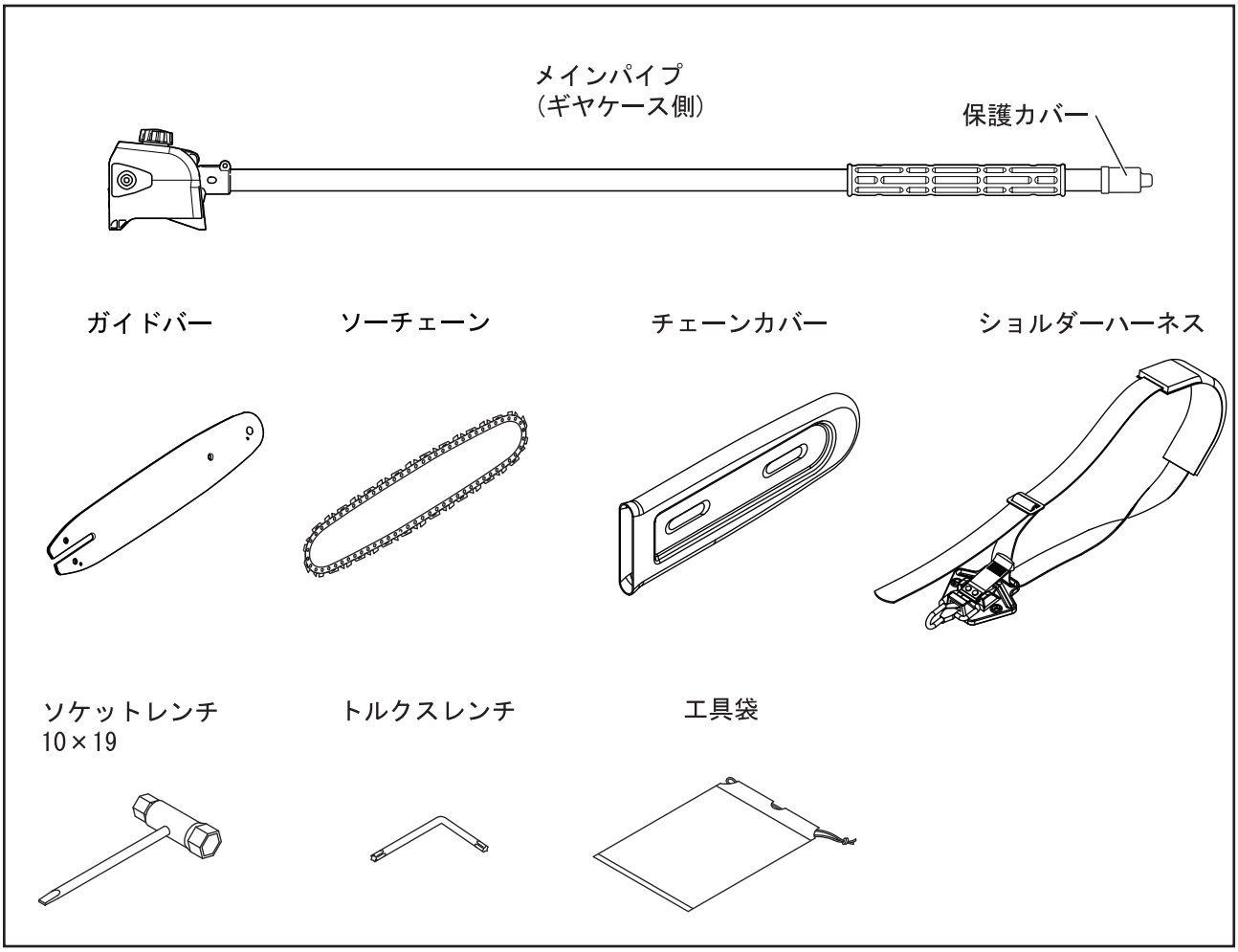
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

BPA510の箱



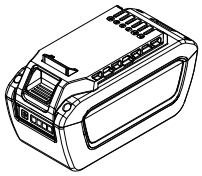
BT-PAの箱



1. 付属品の確認

バッテリ

バッテリ

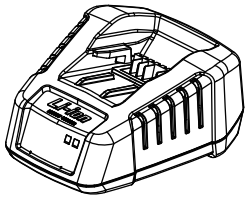


取扱
説明書

保証書

充電器

充電器

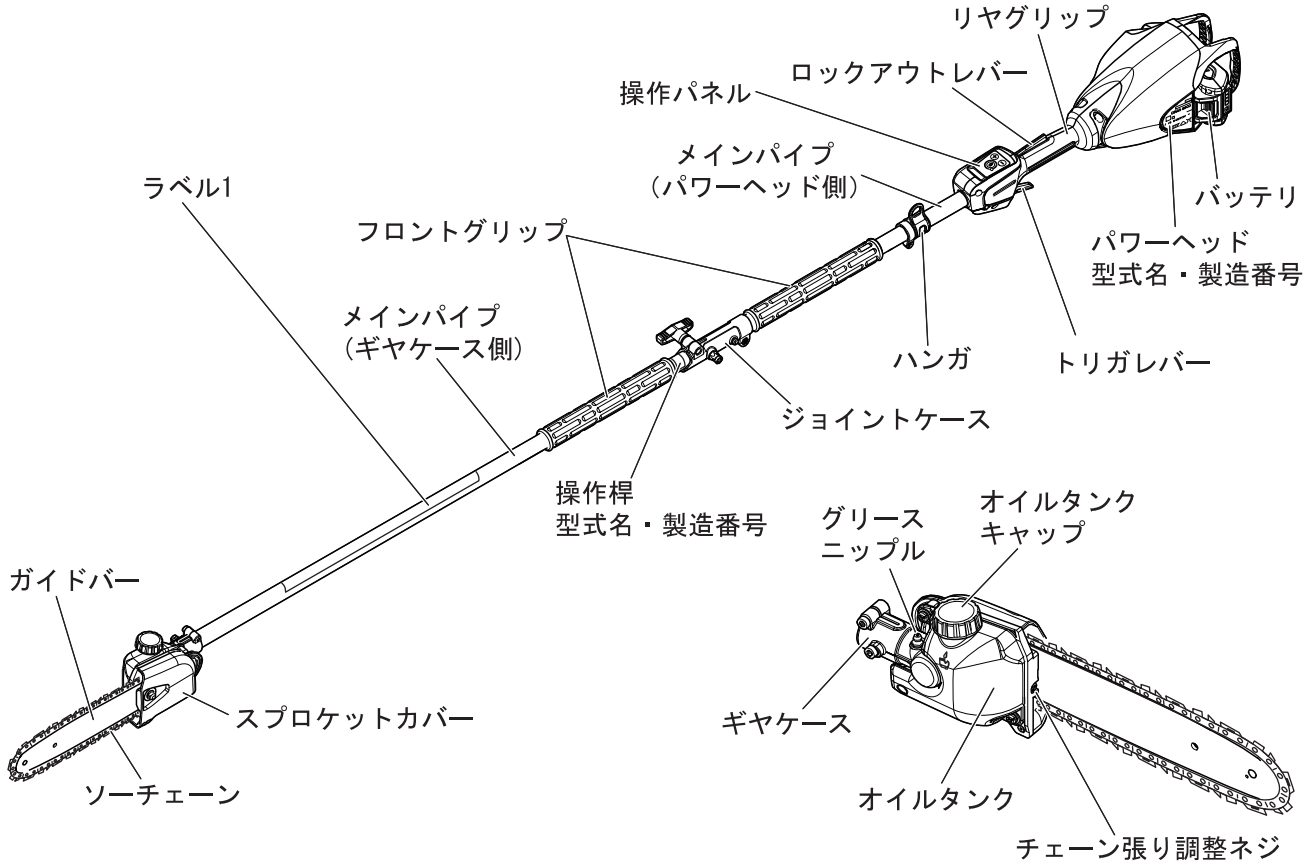


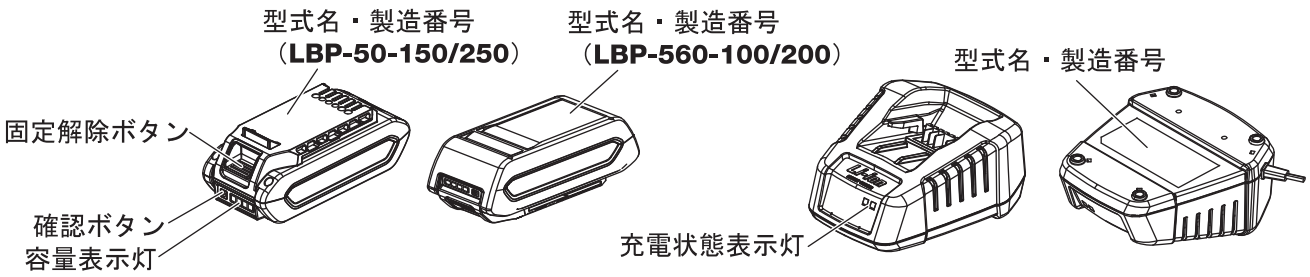
取扱
説明書

保証書

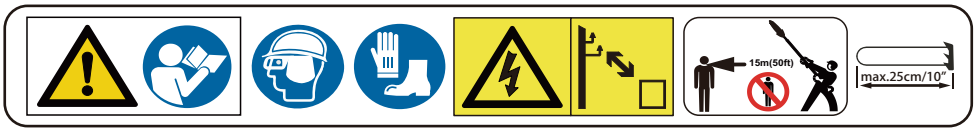
2. 各部の名称と警告表示ラベル

- **本書で説明している製品の、各部の名称および警告表示ラベルを示しています。ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。**
- **ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態にしてください。**





ラベル1. 部品番号:X505-011620



3. 作業の準備

3-1. 製品の組み立て

⚠ 警告

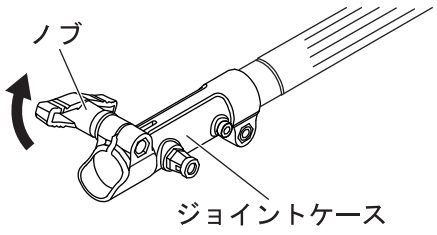
❍ 取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。
誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。

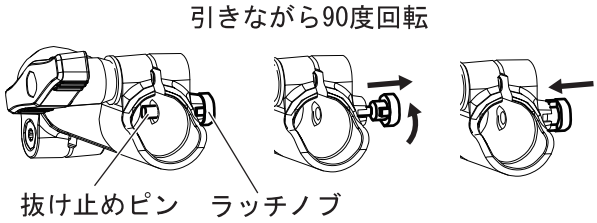


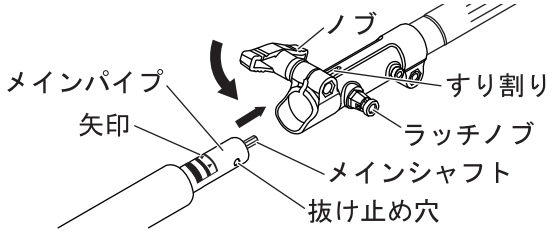
■メインパイプの組立てと分解

⚠ 警告

❍ ラッチノブの抜け止めピンは、確実に抜け止め穴に差し込んだ状態で使用してください。
メインパイプが外れる恐れがあり、事故や重傷を負う原因となります。

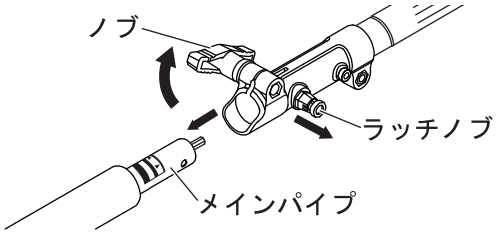






メインパイプの組立て

1. ジョイントケースのノブを回して緩めてください。
2. ジョイントケースのラッチノブを引きながら 90 度回転させて、抜け止めピンがジョイントケースの中側から見えない状態にします。
3. メインパイプに表示してある矢印をジョイントケースのすり割りに合わせて、矢印がジョイントケースに届くまで差し込んでください。
4. 矢印が途中で止まってしまう場合は、メインパイプが完全に入っていませんので、もう一度入れなおしてください。
5. ラッチノブを 90 度回転させて、抜け止めピンをメインパイプの抜け止め穴に確実に差し込みます。
6. メインパイプを軽く回すか、または抜くようにして、抜け止めピンが穴にはまり抜けないことを確認してください。
7. ノブを強く締めてメインパイプを固定してください。



メインパイプの分解

1. ジョイントケースのノブをゆるめてください。
2. ラッチノブを引きながら、メインパイプを引き抜いてください。
3. メインパイプ (ギヤケース側) の先端に保護カバーを取り付けてください。

3. 作業の準備

3-2. バッテリの充電

⚠ 注意

❍ **充電器の通風口をふさがないでください。**

バッテリが発熱、破裂、発火する恐れがあります。



❍ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**

- **コードを持って充電器を運ばないでください**
- **コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください**
- **踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないようにしてください**



❍ **損傷した充電器は使用しないでください。**

感電やショートして発火する恐れがあります。

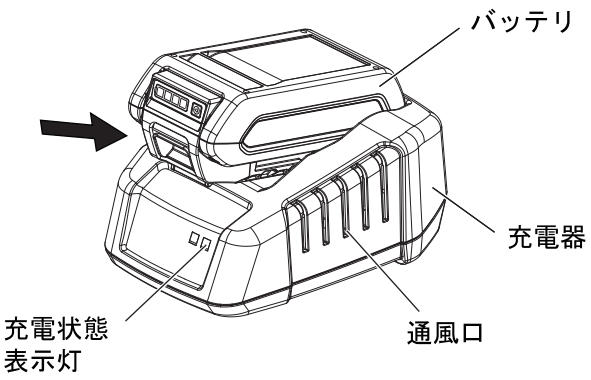
重要

❍ 必ず、やまびこ純正 1P バッテリ (LBP-560-100,LBP-50-150)、または、やまびこ純正 2P バッテリ (LBP-560-200,LBP-50-250) を使用してください。
❍ 周囲温度 5 ℃～ 40 ℃の屋内で充電してください。
❍ カビ、破損など外観の異常が見られた場合は、使用しないで、販売店、または、やまびこサービスショップにご連絡ください。

＊ 最寄りのやまびこサービスショップは株式会社やまびこホームページを参照してください。

❍ 輸送時はバッテリが破損したりショートしないように梱包してください。
❍ 規定時間（31 ページの「仕様」を参照）の充電をしても使用時間が極端に短くなった場合は、指定の新しいバッテリと交換してください。

■バッテリの充電



初めて使用する前に、必ず補充電をしてください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセント (AC100 V) に差し込んでください。
2. バッテリにゴミ、ホコリなどが無いことを確認してください。
3. バッテリを充電器の差し込み口に確実に差し込んでください。

重要

❍ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
❍ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
❍ 発電機で充電するときは、次のことを守ってください。

- 新ダイワ・インバータ発電機を使用する
- コードリール、延長コードなどは使用しない
- 発電機を始動後、出力が安定してから、充電器を接続する
- 発電機に充電器のみを接続し、他の製品を接続しない

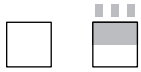
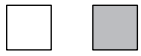
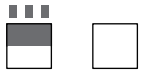
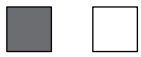
電圧が不安定になり、充電器・バッテリが故障する原因になります。

4. 充電器の充電状態表示灯が緑色に点滅し、充電を開始します。充電器の緑の点滅が点灯に変われば充電完了です。

   * 充電中は充電器内臓の冷却ファンが働きます。
5. 充電中もしくはバッテリを充電器に差し込んだ時点で、充電状態表示灯が赤く点滅している場合は、バッテリまたは充電器の異常です。速やかにバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外して充電をやめてください。
6. 充電が終わったらバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外してください。

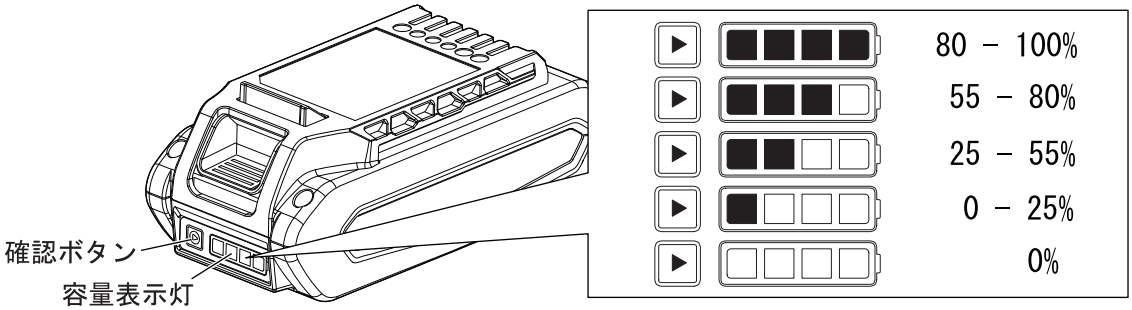
■充電器の充電状態表示灯

充電器には充電状態を表示する充電状態表示灯が前面についています。バッテリを充電器に差し込んだときに点灯または点滅します。

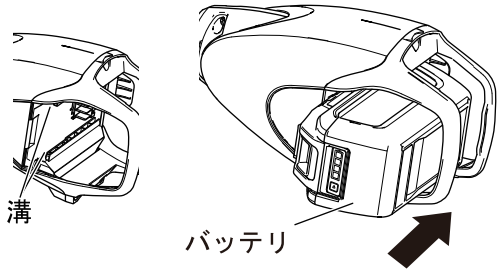
充電状態表示灯の表示		状態	内容及び対処方法
	緑点滅	充電中	充電中です。
	緑点灯	充電完了	充電が完了しました。充電器からバッテリを取り外してください。
	赤点滅	充電不可	充電ができない状態です。バッテリの取り付け部分または充電器とバッテリの端子部が汚れていないかを確認し、汚れていたら清掃してください。 ◆ 上記を確認して状態が改善されない場合は充電器またはバッテリの異常と考えられます。販売店、または、やまびこサービスショップにご連絡ください。
	赤点灯	温度異常	バッテリの温度が充電可能温度範囲外です。バッテリが充電可能温度になれば自動的に充電を開始します。

■バッテリの容量表示

バッテリの確認ボタンを押すと、容量表示灯が点灯して容量を表示します。

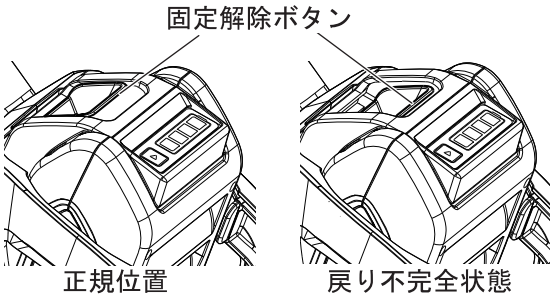


3-3. バッテリの取り付け・取り外し



■ 取り付け

1. 製品本体のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、バッテリを差し込んでください。

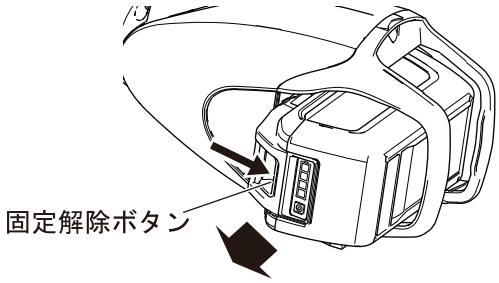


2. バッテリを奥まで差し込んで、固定解除ボタンが正規の位置に戻っていることを確認してください。

⚠警告

❍ **バッテリは確実に取り付けてください。**

確実に取り付けないとバッテリが外れて事故の原因になります。



■ 取り外し

1. 電源スイッチが切れていることを確認してください。
2. 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

3-4. ガイドバーとソーチェーンの取り付け

⚠ 警告

❍ **取扱説明書をよく読んで、正しく取り付けてください。**

誤った取り付け方をするとガイドバーからソーチェーンが外れ、重傷を負う原因となります。



⚠ 注意

❍ **指定したガイドバーとソーチェーンを使用してください。（31 ページの「仕様」、32 ページの「補用品と消耗品」を参照）**

キックバックが起きやすくなり、ケガを負う恐れがあります。

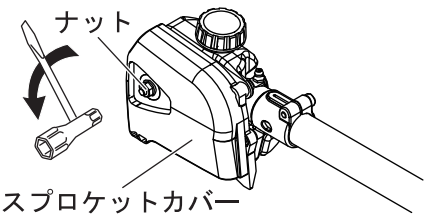
❍ **手袋を着用してソーチェーンを取り付けてください。**

ケガや火傷を負う恐れがあります。

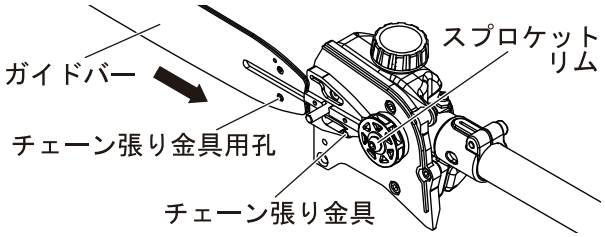
❍ **ソーチェーンの目立ての状況を点検してください。（24 ページの「ソーチェーンの目立て」を参照）**

切れ味の鈍ったソーチェーンは横滑りを起こしやすく、ケガを負う恐れがあります。

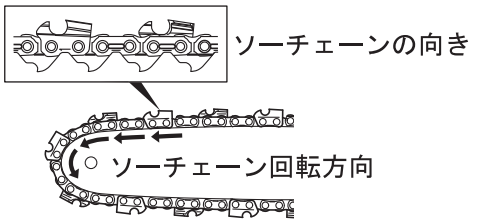
3. 作業の準備



1. スプロケットカバー取付け用のナットを付属のソケットレンチを使って外し、スプロケットカバーを外してください。

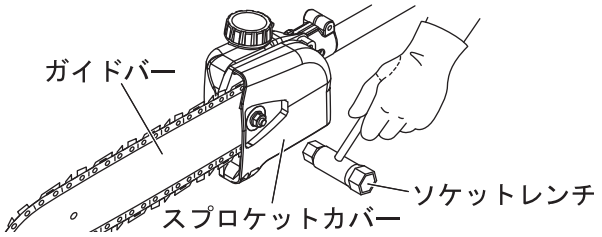


2. ガイドバーをソーチェーンが入りやすいようにスプロケットリム側によせて入れてください。

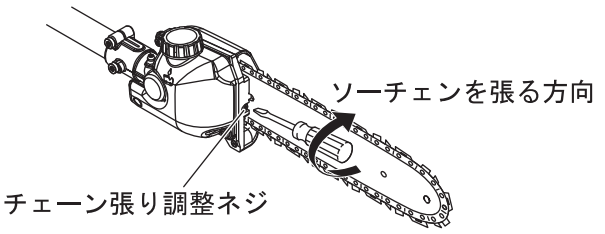


3. ソーチェーンの向きを左図のようにしてスプロケットリムの方からはめ、それからガイドバーの先端に向かってはめてください。





4. チェーン張り金具をガイドバーの孔に入れて、スプロケットカバーを取り付けてください。
（チェーン張り金具が入らないときは、チェーン張り調整ネジを右または左に回して合わせてください）
このとき、スプロケットカバーの後端部も確実に合わせてください。



5. スプロケットカバー取り付け用のナットを軽く締めてください。（チェーン張り金具が外れずガイドバーが動く程度）
6. ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン張り調整ネジを矢印の方向（右方向）に回してソーチェーンを張ってください。

＊ スプロケットカバー後端部が合っていない場合は、ナットを締め付けたときソーチェーンが異常に張る恐れがあります。
また、チェーン張り金具がガイドバーの孔に適正にセットされていない場合は、チェーン張り調整ネジを回してもソーチェーンは張れません。

3-5. ソーチェーンの適正な張り

⚠ 注意

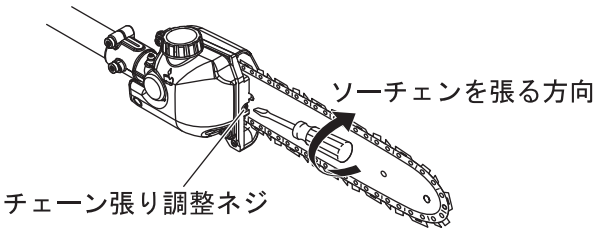
❍ **ソーチェーンの張りを確認するときは、必ず手袋を着用してください。**
ケガや火傷を負う恐れがあります。

❍ **ソーチェーンの張りを確認するときは、必ずバッテリを本体から取り外してください。**
不意の始動で事故や重症を負う原因となります。

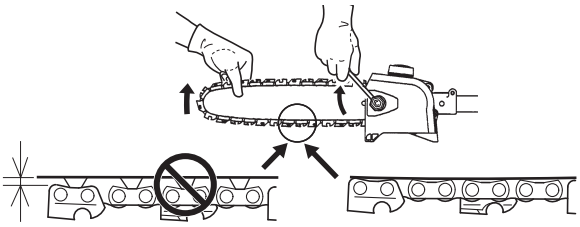
❍ **ソーチェーンの張りは作業中にも点検し、必要に応じて再調整してください。特に新しいソーチェーンは伸びが著しく、非常に外れやすくなるので、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。**
張りがゆるい状態で使用するとガイドバーから外れやすくなり、ケガを負う恐れがあります。

重要

❍ 使用中にソーチェーンがたるんだ場合は、スプロケットカバー取り付け用のナットを 1 回転ゆるめた後、指で締めた状態で張りを調整してください。



1. ガイドバーの先端を持ち上げ、チェーン張り調整ネジを矢印の方向に回し、ソーチェーンがバー下側に接触する程度に調整してください。



2. ガイドバーの先端を持ち上げたまま、付属のソケットレンチでナットをしっかり締め付けてください。その後ソーチェーンが手で動くことを確認してください。

■ソーチェーンの初期伸び

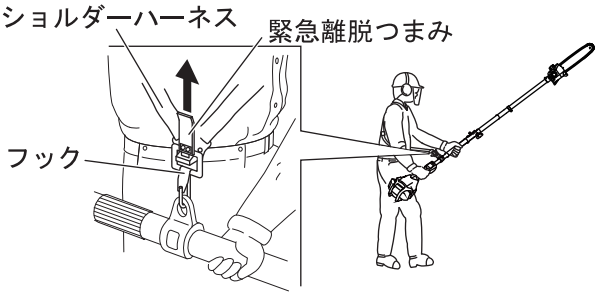
❍ 新品のソーチェーンは初期伸び（部品同士がなじむまでに起こる全長が長くなる現象）が著しく、そのままお使いになると非常に外れやすい状態になり、怪我を負う恐れがあります。

❍ 新品のソーチェーンをお使いになる際は、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。

＊ 1 度外れてしまったソーチェーンは変形や破損している恐れがあるためお使いにならないでください。

3-6. ショルダーハーネスの調整

■ショルダーハーネスの脱着



1. ショルダーハーネスを頭から通し、フックが身体の右側にくるように掛けてください。
2. フックが腰の位置になるように、ショルダーハーネスの長さを調整してください。
3. フックに製品を装着してください。

＊ 緊急離脱つまみを上に引くと、ショルダーハーネスからフックが瞬時に切り離されます。

3-7. チェーンオイルの準備

重要
❍ 運転中ソーチェーンにオイルを与えるのは、ソーチェーンとガイドバーとの摩擦を少なくし摩耗を防ぐためと、ソーチェーンへの樹脂の付着を防ぐためです。 ❍ 廃油、再生油は故障の原因になるので使用しないでください。



やまびこ純正チェンオイル



やまびこ生分解性
チェンオイル
（エコグリーンオイル）



エコマーク認定番号
第09110004号
株式会社やまびこ

1. チェーンオイルタンクのキャップを開け、オイルタンクに補給してください。
   補給後は、オイルタンクキャップを確実に締め付けてください。

   チェーンオイルにはやまびこ純正チェンオイル、またはやまびこ生分解性チェンオイル（エコグリーンオイル）を使用してください。

* やまびこ生分解性チェンオイルは、自然にやさしい高い分解性能と製品にやさしい高い潤滑性能を兼ね備えたオイルです。
* 燃料を補給するときは、同時にチェーンオイルもオイルタンクに補給してください。

4. 始動・停止

⚠ 危険

❍ **この製品は、電流に対して絶縁されていないため、頭上にある全ての導電体と通信線に直接または間接的に触れると、重傷を負うことや死亡することになります。**

⚠ 警告

❍ **可燃性の液体、ガス、ほこりなどがあり、爆発が起こる可能性のある中で、製品を操作しないでください。**

製品から火花が出て、ガスなどに引火する原因となります。

❍ **製品を始動するときは、次のことを守ってください。**

- **アタッチメントが地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**

守らないと事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品を持ったり、運んだりするときは、次のことを守ってください。**

- **操作時以外はスイッチに指を掛けて持たない**
- **運ぶ時は必ずスイッチの電源を切り、バッテリを取り外し、チェーンカバーを装着する**

製品が作動して、事故や重傷を負う原因となります。

❍ **製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、販売店、または、やまびこサービスショップに修理を依頼してください。**

部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

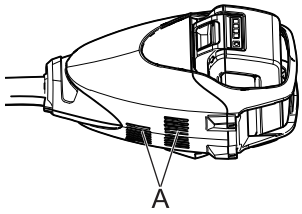
❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。**

高温部に触れると火傷します。

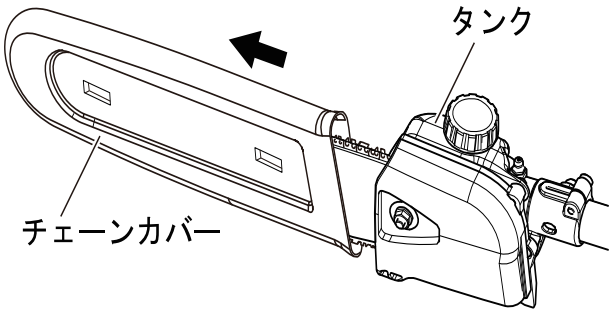


重要

❍ **換気口（A）は常に清潔に保ってください。**

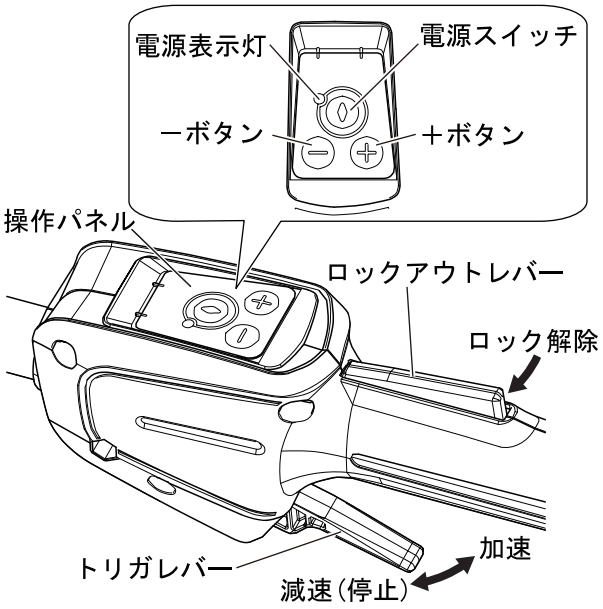


4-1. 始動



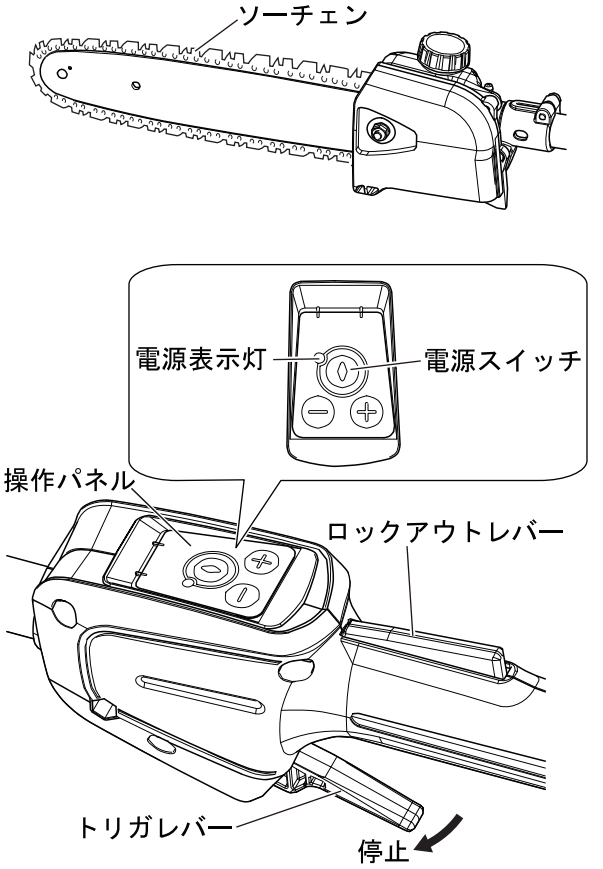
1. チェーンオイルがタンクに入っていることを確認してください。
2. チェーンカバーを取り外します。
3. バッテリを取り付けてください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)
4. ハンガを肩掛けバンドに取り付けてください。
5. 始動するときにガイドバーとソーチェーンが何かに触れていないことを確認してください。

4. 始動・停止



6. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると電源表示灯が点灯します。
7. ＋ボタン、－ボタンを押して速度を設定してください。
   * ＋ボタンを押すと速度が上がり、－ボタンを押すと速度が下がります。
   * 速度は、低速、中速、高速の 3 段階です。
8. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (ソーチェンが動き始めます)。トリガレバーの握り具合で速度が変わります。
   * トリガレバーを握った状態でも、＋ボタン、－ボタンを押すと速度の設定が切り替わります。
9. トリガレバーの握りを解除してください。(ソーチェンが停止します)。速度の設定は維持されます。
   * 電源が入った状態で約 90 秒間､ソーチェンを作動しないと自動的に電源が切れて電源表示灯が消灯します。再開したい場合は、電源スイッチを押して電源を入れ直してください。(上の手順 6 に戻ってください)。
10. ロックアウトレバーとトリガレバーを一緒に握ってください (ソーチェンは再度動き始めます)。トリガレバーの握りと解除の繰り返しで作業できます。

4-2. 停止



⚠注意

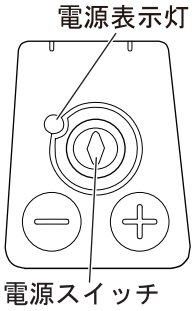
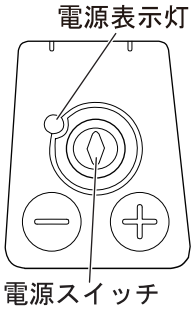
❍ **ソーチェーンは、電源スイッチを切った後も短時間動作していることがあります。**

ソーチェーンが停止するまで、周囲を広くとり、人や動物を近づけないでください。

1. トリガレバーとロックアウトレバーの握りを解除してください (ソーチェンが停止します)。
2. 電源スイッチを押して、電源を切ってください。電源表示灯が消灯します。
   * ソーチェンが停止しない場合は、バッテリを取り外してください。(14 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照)

   再び製品を使用する前に、販売店、または、やまびこサービスショップに点検と修理を依頼してください。

4-3. エラー表示

電源表示灯の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 4 回点滅)		・ エラー内容 : 過負荷による停止 ・ 原因　　: ソーチェンロックなど (ソーチェン周辺に木などの異物が詰まった場合) ・ 復帰方法　: 原因を取り除き、電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 過熱による停止 ・ 原因　　: 製品やバッテリが高温になっている ・ 復帰方法　: 冷却後に電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : トリガレバーの繰り返し操作 ・ 原因　　: トリガレバーを握る・離すの操作を短時間に繰り返した ・ 復帰方法　: 電源スイッチを入れ直す
		・ エラー内容 : 誤作動 ・ 原因　　: トリガレバーを握った状態で電源スイッチを入れた ・ 復帰方法　: トリガレバーの握りを解除する
■ 電源表示灯が点滅 (毎秒 1 回点滅)		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの容量不足 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する
		・ エラー内容 : バッテリの電圧異常 ・ 原因　　: バッテリの過放電 ・ 復帰方法　: バッテリを充電する 解消されないときはバッテリを交換する
		・ エラー内容 : バッテリ電圧センサ異常 ・ 原因　　: バッテリ内のセンサ接触不良・断線 ・ 復帰方法　: バッテリを交換する

5. 枝切り・剪定作業

⚠ 危険

製品の中心から 15m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。

- **危険区域に人や動物を入らせない。**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、電源を切り、ソーチェンを停止させる。**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、電源を切り、ソーチェンの停止を確認する。**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 15m 以上離れる。**

  飛散物に当たりケガを負ったり、転倒して重傷を負う原因となります。

- **他の作業者と作業位置が上下にならないようにすること。**

  切断された枝や製品などが落下した場合、重傷を負うことになります。

⚠ 警告

キックバックに注意

- **作業中にソーチェーンの先端が、木材、石、金属製の柱などに接触した場合や、ソーチェーンが木にはさまれた場合に、キックバックが発生することがあります。作業をしている場所には、他の木材や切り株などの障害物がないことを確認してください。また必ず両手でグリップを握ってください。**

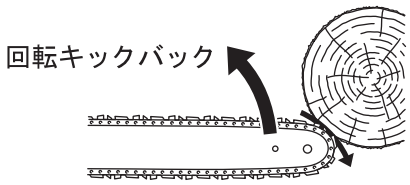


  ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

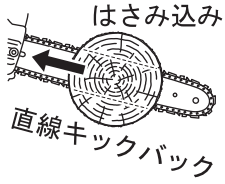
- **細い木や枝を切る場合、細い木や枝がソーチェーンに絡まったり、作業者の方に跳ね返って来たりして、バランスを失うことがありますので注意してください。**

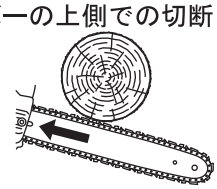
  飛散物に当たりケガを負ったり、転倒して重傷を負う原因となります。

回転キックバック
ガイドバー先端の接触が瞬間的にキックバックを引き起こし、ガイドバーが作業者の方向に跳ね返って来ます。



直線キックバック
ガイドバーが木にはさまれてソーチェーンが動かなくなったとき、モーターの回転を上げると急に製品は後方に押し出されます。
ガイドバーの上側で切断する場合も、製品は作業者の方へ押されます。





5. 枝切り・剪定作業

⚠ 警告

作業場所の確認

❍ 作業前に作業する場所にあるヒモや針金などは取り除いてください。

製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 作業前に作業する場所にあるゴミなどは取り除いてください。

製品にからみついたり跳ね飛ばしたりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 作業前に切断物が落ちる場所の確認をしてください。

チェーンオイルや切り粉の飛散、切断された枝などが落下して、事故や重傷を負う原因となります。

無理な姿勢での作業禁止

❍ 足元をしっかりさせバランスを保ち、安定した姿勢で作業をしてください。
❍ 作業は水平から６０°の範囲で行ってください。

転倒や誤った操作などにより、事故や重傷を負う原因となります。

片手使用禁止

❍ 両手でグリップを握って製品を操作してください。

片手で操作すると製品をコントロールできず、ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

片手使用禁止



硬いものの切断禁止

❍ 針金や鉄板など、硬いものを切らない。

故障や事故の原因となります。

作業中断時は電源を切る

❍ 作業を中断し製品を下に置く前に、電源を切り、ソーチェンが止まったことを確認してください。

トリガレバーに木の枝などが進入し、ソーチェンの回転が上昇することがあります。

❍ 作業を中断し製品を下に置く場合は、可燃物のない場所に置いてください。

火災の原因となります。

❍ ソーチェンにものがはさまったり、からまった場合は電源を切ってソーチェンが止まった後に、取り除いてください。

事故や重傷を負う原因となります。

移動時は電源を切る

❍ 作業を中断して移動する場合は、電源を切ってバッテリを外し、チェーンカバーを装着してください。また、ソーチェーン側を後側にして持ってください。

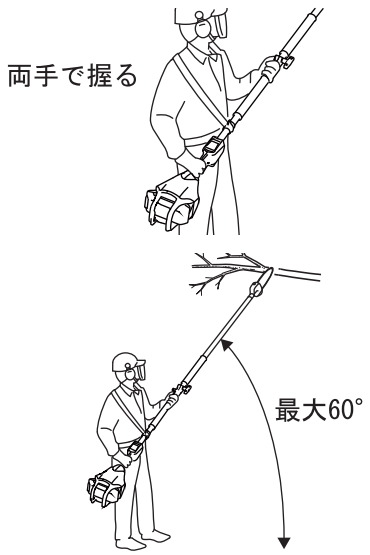
火傷や重傷を負う原因となります。

重要

❍ 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃で製品を使用してください。

5. 枝切り・剪定作業

■剪定・刈り込み作業



製品は一人で操作するものですが、助けが必要な場合に備え、呼べる程度の近い場所に他の作業者がいるようにしてください。

製品の左側に立って、左手でフロントグリップ、右手の親指でロックアウトレバーを押しながら、親指以外の右手でトリガレバーを握ってください。

電源スイッチを押し、ロックアウトレバーを押しながら、トリガレバーを一杯に握り、剪定を開始してください。

ソーチェーンが正しく目立てされていれば、比較的楽に切断できますので、製品を無理に押しつける必要はありません。
押しつけすぎるとソーチェンの回転が落ち、切断作業が難しくなってしまいます。

* 実際に切断する前に製品の操作をよく理解してください。
* 潤滑のためのチェーンオイルがソーチェン部より飛び散ります。衣服や目などの身体に付着するおそれがありますので自分の作業位置や他の作業者など、周囲を確認して使用してください。

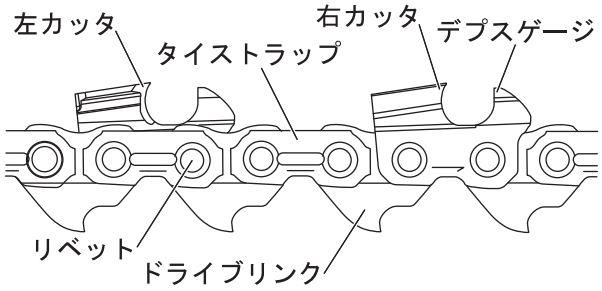
6. 点検・整備

6-1. ソーチェーンの目立て

⚠ 注意
❍ **電源を切って、バッテリを取り外し、本体が冷えてから手袋を着用のうえ、目立てをしてください。** ソーチェーンに接触し、ケガを負う恐れがあります。

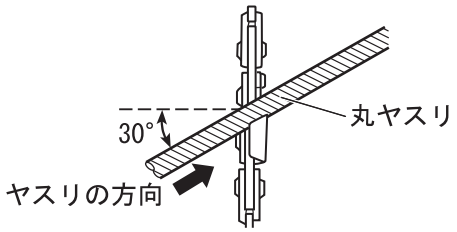
重要
❍ この製品に付属するソーチェーンタイプは、オレゴン**９０ＰＸ** です。

■ソーチェーン各部の名称



- デプスゲージ ：カッタの切り込み深さを決めます。
- 右カッタ ：木材を切削するカッタです。
- タイストラップ ：カッタとドライブリンクを結合します。
- 左カッタ ：木材を切削するカッタです。
- リベット ：各部分のつなぎの役目をします。
- ドライブリンク ：スプロケットとかみ合い、動力伝達を受けると共に、ガイドバーの溝にはまりソーチェーン全体のガイドとなります。

■目立て



ソーチェーンの目立てには丸ヤスリと平ヤスリを使用します。丸ヤスリはカッタの研削に、平ヤスリはデプスゲージの研削に使用します。

各ソーチェーンに使用する丸ヤスリの直径は次のとおりです。

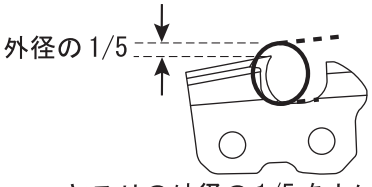
ソーチェーン	丸ヤスリの直径 (mm)
９０ ＰＸ	4.5

＊ 上刃目立て角度は 30° です。

＊ 丸ヤスリは別売りです。



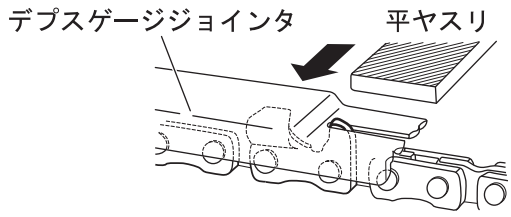
1. 丸ヤスリを水平に保って、前方に軽く押し出してください。
2. 手前に引くときは丸ヤスリをソーチェーンに当てないでください。



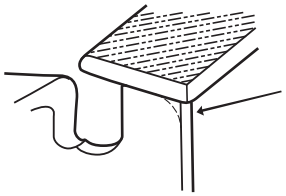
ヤスリの外径の 1/5 を上に出す

3. 研削のとき丸ヤスリの径の 1/5 をカッタの上に出し、目立てをしてください。
4. 左右のカッタの長さが均等になるようヤスリを掛けてください。

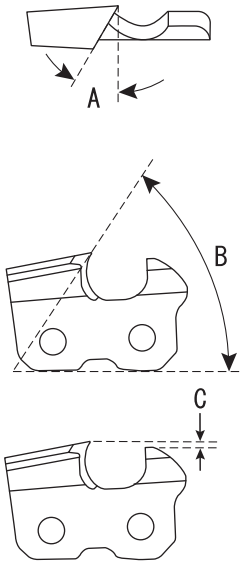
＊ 正しい位置と角度を保つため、ヤスリホルダを使用してください。ヤスリホルダは別売りです。



5. デプスゲージの調整は、デプスゲージジョインタと平ヤスリを用いてください。デプスゲージジョインタと平ヤスリは別売りです。
6. デプスゲージジョインタを左図のようにカッタにかぶせてください。



7. 平ヤスリを用いて、デプスゲージのデプスゲージジョインタから出た部分を削ってください。
8. デプスゲージを削った後は、デプスゲージジョインタを外し、デプスゲージの前方の角を平ヤスリで丸く仕上げてください。



正しくヤスリを掛けられたカッタは次のようになります。

- **９０ＰＸ**

  A ：上刃目立て角度 30°

  B ：上刃切削角度 55°

  C ：デプス 0.65 mm

ソーチェーンの目立てが終了したらソーチェーンをオイルに浸け、ヤスリ粉を洗い落としてから使用してください。
ソーチェーンをガイドバー上でヤスリ掛けした場合は、オイルを十分に給油し、ソーチェーンをゆっくり回してヤスリ粉を洗い落としてから使用してください。

6-2. 点検・整備の目安

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、本体からバッテリを取り外してください。**
不意の始動で事故や重症を負う原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			12
ソーチェーン	(注) ○			24
ガイドバー	○			26
スプロケット	○		●	26
ギヤケースのグリース注油		○		27
スクリュ、ボルト、ナット	○		●	-

○：ご自分で点検・整備してください。

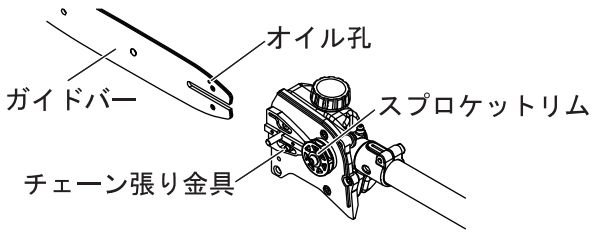
●：製品の性能維持のため、販売店、または、やまびこサービスショップに定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

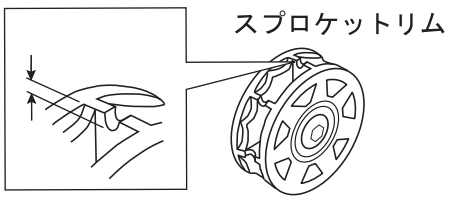
(注) 振動障害を予防するために

- **通常より振動が増えたと感じた場合は、販売店、または、やまびこサービスショップに点検を依頼してください。**
- **ソーチェンの目立て具合により振動が増えることがあります。「ソーチェンの目立て」の項を参照して整備をしてください。**

6-3. 点検・整備要領

■ガイドバーとスプロケットの点検

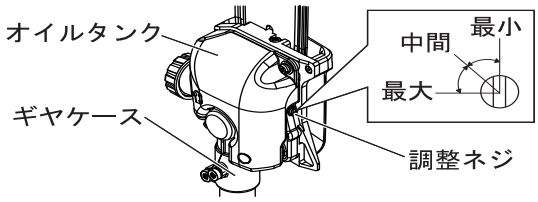




1. 小型ドライバなどを使ってガイドバーの溝を清掃してください。
2. オイル孔を針金などできれいにしてください。
3. ガイドバーを定期的に裏返してください。
4. ガイドバーを取り付ける前に、スプロケットリムを点検し、ガイドバー取り付け部をきれいにしてください。異常がある場合は修理を依頼してください。
5. スプロケットリムにヒモや草が巻きついていないか点検してください。巻きついているときは取り除いてください
6. スプロケットリムが摩耗すると、ソーチェーンの損傷や摩耗を早めます。新しいソーチェーンに交換するときはスプロケットリムを点検し、0.3 mm 以上摩耗したら交換してください。

6. 点検・整備

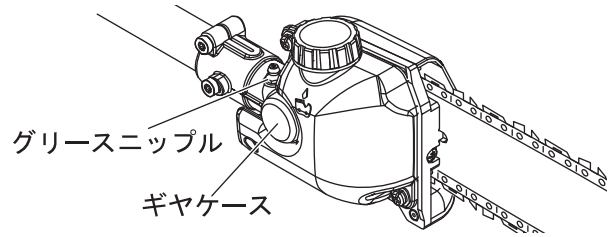
■チェーンオイル吐出量の調整



必要に応じて、本体下部の調整ネジでチェーンオイルの吐出量を調整してください。

1. 吐出量を増す場合は調整ネジを左に回してください。調整ネジがストッパーに当たって止まった位置で最大吐出量が得られます。
2. 調整の上限と下限を越えて、調整ネジを回さないでください。

■ギヤケースのグリース注油



1. グリースニップルの周りの汚れを拭き取ってください。
2. グリースニップルからグリースポンプを使用して、グリースを注入してください。

* グリースは、純正ギヤケースグリースかリチューム系グリース（#2）を補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。

7. 保管

⚠ 警告

❍ **可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。**

火災の原因となります。



❍ **製品を長期間 (30 日以上) にわたって保管する場合は、下記の手順で整備してください。**

重要

❍ **やまびこ生分解性チェンオイルは経時により固くなる傾向があるため、使用したときはオイルタンクからオイルを抜き取ってください。その後、従来のやまびこ純正チェンオイルをタンクに入れ、本体を始動し、配管内にオイルを通して保管してください。**

オイルポンプ破損の原因となります。



1. 電源スイッチを切ってください。
2. 本体からバッテリを取り外してください。
3. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
6. チェーンカバーを装着してください。
7. バッテリを充電器に取り付けないでください。
8. 製品本体、バッテリ、充電器とも、子供の手が届かないホコリの少ない、乾燥した 0 ℃～ 40 ℃の場所に保管してください。

＊ バッテリを 1 年以上使用しないときには、劣化を防ぐために 40 ～ 60%の容量で充電し、10 ℃～ 30 ℃の場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (14 ページ)
ロックアウトとトリガレバーを握ってもソーチェーンが回転しない	• 電源が入っていない	• 電源スイッチを押してください (18 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する (12 ページ)
	• 製品本体やバッテリが過熱状態にある	• 冷却後に電源スイッチを入れる (19 ページ)
	• ガイドバーとスプロケットリムの間に草などの異物が巻き付いている	• 清掃 (26 ページ)
	• 始動の手順を間違える	• 正しく始動する (18 ページ)
	• トリガレバーを握る・離すの操作を、短時間で繰り返す	• 電源スイッチを入れ直す (19 ページ)
駆動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている	• バッテリを本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (14 ページ)
	• 本体が過熱状態になっている	• 電源を切って、本体を十分に冷ます (19 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する (12 ページ)
切れ味の低下	• ソーチェンの摩耗	• ソーチェンの目立て (24 ページ)
	• ガイドバーの摩耗	• 販売店へ依頼

■ 充電器・バッテリ

故障内容	原因	対策
充電状態表示灯が点灯・点滅しない	• 充電器の電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	• 電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	• バッテリが充電器に確実に差し込まれていない	• 確実に差し込む (12 ページ)
	• 充電器またはバッテリの端子部が汚れている	• 端子部を清掃する
	• 充電器のコードが断線している	• 販売店へ依頼
	• バッテリの寿命	• 新品と交換

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点は販売店、または、やまびこサービスショップにご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

8. 故障対策

8-3. バッテリの回収





- 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
- 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。

- やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。
- バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

型式名		BPH510-PA
項目	単位	
外形寸法 長さ × 幅 × 高さ (バッテリ、ガイドバー、ソーチェンを除く)	mm	2,195×168×173
質量 (バッテリ、ガイドバー、ソーチェン、オイル、ハーネスを除く)	kg	3.7
モーター	ー	DC ブラシレスモータ
回転数	r/min	4,860 ～ 9,200
操作桿		
歯車減速比	ー	0.94
潤滑剤	ー	純正グリース
オイル		
チェーンオイル	ー	やまびこ純正チェーンオイル、やまびこ生分解性チェーンオイル
タンク容量	mL	110
給油方式	ー	自動給油

ガイドバー			ソーチェーン			
ガイドバータイプ	長 さ cm	ゲージ mm (ｲﾝﾁ)	チェーンタイプ	ピッチ mm (ｲﾝﾁ)	ゲージ mm (ｲﾝﾁ)	リンク数
T25S90-39SA- NB	25	1.1 (0.043)	**90PX**	9.53 (3/8)	1.1 (0.043)	39

その他の装置	ロックアウトレバー

❍ 充電器仕様

型式名		LCJQ-560D	
項目	単位		
電源		AC100 V 50/60 Hz	
充電時間		やまびこ純正 1P バッテリ	やまびこ純正 2P バッテリ
	min	約 33(LBP-560-100)	約 64(LBP-560-200)
	min	約 47(LBP-50-150)	約 89(LBP-50-250)

❍ バッテリ仕様

型式名		LBP-560-100	LBP-50-150	LBP-560-200	LBP-50-250
項目	単位	(やまびこ純正 1P バッテリ)		(やまびこ純正 2P バッテリ)	
種類		Li-ion			
質量	kg	1.0		1.8	
容量	Ah/Wh	1.82/92	2.25/113	3.66/185	4.50/226
電圧（定格）	V	50.4			

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
カットチェーン	X221-000130	90PX-39X
ガイドバー	X121-000230	T25S90-39SA- NB
チェーンカバー	X490-001030	オレンジ
オイルタンクキャップ Ass'y	C020-000011	ブラック
ソケットレンチ	X602-000190	10 mm x 19 mm
丸ヤスリ	897510-61530	4.5 mm(11/64)
ヤスリ用グリップ	897512-35630	
ヤスリホルダ	31692	4.5 mm(11/64) 用
平ヤスリ	X620-000030	
デプスゲージジョインタ	X623-000020	0.65 mm(0.025)
目立て用アングルプレート	90610	マグネット付
目立て用クランプ	26368A	
チェーンオイル	X697-000120	4 L
エコグリーンオイル　4 L	X697-000141	生分解性チェンオイル　4 L
エコグリーンオイル　18 L	X697-000131	生分解性チェンオイル　18 L
グリース	X695-000020	50 g
充電器		LCJQ-560D
バッテリ		やまびこ純正 1P バッテリ (LBP-560-100,LBP-50-150)
バッテリ		やまびこ純正 2P バッテリ (LBP-560-200,LBP-50-250)

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、販売店、または、やまびこサービスショップとご相談の上、購入してください。

メ　モ

メ　モ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750831-0203　　2412Ak 0670 ES
(C) 2022 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。